

科目名	臨床実習 I						
科目名(英)	Clinical Training of Occupational Therapy I						
単位数	8	時間数	400時間	担当者	専任教員		
実施年度	2020年度	実施時期	5月11日～7月25日	担当者実務経験	作業療法士として医療・福祉機関に勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 3 年次						
授業概要	学内セミナーにて作業療法評価や介入の模擬的なトレーニングを学生同士や模擬症例使用し行った後、学業ごとに割り当てられた臨床実習施設にて10週間の実習を行う。実習後は体験した来た実践を振り返り知識・技術について共有する。						
授業形式	講義: △	演習: △	実習: ○	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○	○	○		社会人・職業人として適切な人間関係を実習施設で構築することができる。	
	○	○		○		担当症例について作業療法評価を実施し、作業に焦点をあてた作業療法実施計画を立てることができる。	
	○	○	○	○		担当症例について立案した作業療法プログラムを作業に基づいて安全に配慮しながら実施することができる。	
	○	○	○	○		作業療法プログラムを適宜修正しながら進めることができる。	
○	○		○		実施した作業療法について、作業療法理論やICFに基づき報告書としてまとめることができる。		
テキスト・教材 参考図書	在学中に使用した教科書全般						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1						
	2						
	3						
	4						
	5	3月28日～5月7日:事前セミナー学生同士での検査・測定実習模擬症例を使った作業療法実施計画の立案					
	6	演習 接遇およびコミュニケーション講座					
	7	5月11日～7月25日(11週間):臨床実習※施設の就業規定に応じて11週間実施(5日/週を基本とする)					
	8	7月27日～7月31日 臨床実習 I 事後セミナー、臨床実習 I 事前セミナーおよび臨床実習 I で体験してきた症例を通じたペアワーク(学生同士での検査・測定実習および、体験してきた症例を通じた評価計画および作業療法プログラム立案演習)					
	9						
	10	臨床実習 II 終了後は、12月実施の学力試験 I までの期間、国家試験対策講座およびグループ学習について、スケジュール、内容を別途提示しセミナーを開催する。					
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	2/3以上の出席が前提となり、臨床実習評価報告書および前後のセミナーへの参加、OSCE(客観的臨床能力試験)の結果および12月に実施する国家試験形式の学力試験 I を考慮して評価する。成績評価基準は上記成績を総合的に判定して、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	SVの臨床実習成績報告書による	○	○	○	○		60%
	提出物および前後のセミナー等	○	○	○	○		40%
履修上の注意	臨床実習期間中は、小さな問題や困りごとは担任または学校まで連絡・報告・相談すること。セミナー期間も出席すべき日数としてカウントするので、自身の健康管理・時間管理を徹底してほしい。						